

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. 171

エントリー学校名：高知県立高知若草特別支援学校子鹿園分校

活動名：創り出そう、学びあい！

～時間や内容を工夫した研修企画～

解決すべき課題：勤務校は様々な年代やキャリアの教員により構成されている。特に採用前期の若年教員や期限付き講師が全体の約三分の一を占めていることから若年層の確実、迅速な育成が求められている。また、特別支援学校での勤務や肢体不自由教育の経験が浅い教員も多い。さらに、チームティーチングで行う授業も多いことや、専門的な教育内容の質の向上のため、一人一人のキャリアや課題に応じて学びを深められるようにすることは課題であると考えます。

目標・方針：キャリア、学部や類型の担当枠を超えた学びあいの実現

一人一人の経験や得意分野を活用しながら組織的な人材育成を目指す。校内における授業づくりの PDCA サイクルの強化のための取組と、若手教員が授業づくりの悩みや仕事に対する不安を相談できる職場となるような取組の基盤づくりを行う。

活動内容：初任者や肢体不自由教育の経験が浅い教員を対象として、自立活動や肢体不自由児の理解等について学習する機会を設定した。〈表 1〉また、若年期の教員がメンター的な立場を活用して学びあう場として「ちょこっと研修」を設定した。初任者については配置校研修の一部として位置づけ、6名の少人数で実施した。毎回テーマを設定し、これまで学んできたことや関連する実践についてディスカッションする機会を作った。〈表 2〉〈写真 1〉

活動の成果：中堅教員は話題提供者（講師）になり、自身の授業等で取り組んできたことや得意分野について話すことによりこれまでの実践を振り返る機会となった。また、初めて特別支援学校に赴任する教員や初任者については基本的な事柄を知る場となり、従前より勤務する教員は知識や実践について再確認する場となった。特に「自立活動とは」については後日、全員を対象に再度研修を行い、今年度の学校の重点取組項目である「自立活動の指導の充実」の研修の中で基礎的な内容の共有を図った。また、新規採用期から若年前期の教員が近い立場で学びあうことで、意見や質問を出しやすい雰囲気があった。併せてこれまでの研修で学んだことを経験に基づいて話すことで、学びを振り返ることや協議の中で今後の指導に対するヒントを得ることができている。また、2・3年時の教員については研修企画やプレゼンテーションのスキルの上も見込まれ、校内研修等の中でファシリテートを担う場面も増えた。

アピールポイント（アイデアや工夫）：

- 短時間の研修を設定することで負担感を減らした
- 専門性が求められる学校での基本的な内容を共有できた
- 若手同士が学びあう研修スタイルで、初任者が近い立場の教員に相談できる場を作った

〈表 1 活動内容〉

「はじめの一步講座」

		時間	内容	情報提供
4月16日	木	9:45~10:30	肢体不自由とは	A教諭
4月17日	金	11:30~12:15	教科指導を考えよう	A教諭
4月22日	水	11:30~12:15	知的障害のある子どもの学習	B教諭
4月23日	木	11:30~12:15	自立活動とは	C教諭
8月25日	火	11:30~12:15	社会性の指導	D教諭

〈表 2 活動内容〉

「ちょこっと研修」

1	6月1日	目指す教員像
2	6月8日	服装とモラル(スクールコンプライアンス)
3	6月22日	話し方・聞き方
4	7月6日	教育公務員として(服務規律)
5	7月13日	児童生徒理解・子どもの行動の見方
6	8月24日 13:30~14:30	学習指導(教材の工夫)・自立活動について (15分×4名のプレゼンテーション)
7	9月7日	タイムマネジメント
8	9月28日	学習指導(教材づくりの工夫)初任者のプレゼンテーション(1)
9	10月5日	学習指導(教材づくりの工夫)初任者のプレゼンテーション(2)
10	10月19日	危機管理について
11	11月9日	会議の進め方
12	1月15日	年度末の書類等(指導要録、指導計画)について
13	2月1日	メンタルヘルスマネジメント

〈写真 1〉 学習指導（教材の工夫）についてのプレゼンテーション



発達段階や特性に応じた指導に効果的な教材の工夫について、実践例に基づいて紹介がされています。初任者からは質問や相談があり、先輩教員からはこれまでの実践等に基づいてアドバイスがされています。